

FARM LEAGUE

▶WESTERN LEAGUE

Only Team bi weekly Report

くふうハヤテベンチャーズ静岡

PICK UP

白星発進に導く好投を披露

佐藤宏樹

【投手】

HAYATE

今

年のくふうハヤテはこの年の1球から始まった。秋田県の大館鳳鳴高から慶大を経てソフトバンクのユニフォームに袖を通した左腕は今季、「ラストチャンス」の思いで静岡の地から実力をアピールする。ケガの影響もあり、福岡での4年間は三軍や四軍での登板が主戦場。二軍で1年間投げきれなかった悔しさを抱えながら、昨オフに戦力外通告を受けた。「モヤモヤが残った」という佐藤宏樹は、周りからの後押しのおかげでくふうハヤテでの挑戦を選択。



PROFILE

さとう・ひろき●1999年2月18日生まれ。秋田県出身。180cm80kg。左投左打。大館鳳鳴高から慶大へ進むと1年秋からリーグの最優秀防御率のタイトルを獲得。2年次以降は肘痛に苦しむ時期もあったが、21年に育成1位でソフトバンクへ。4年間で支配下昇格とはならず戦力外通告を受け、今季からくふうハヤテ。(写真=くふうハヤテ)

迎えた開幕戦（オリックス戦＝ちゅうる）では、白星こそ自身には付かなかったものの5回1失点と先発の役割を果たすと、良い流れを受けた打線が奮起し、NPB参入2年目にしてチームは見事に開幕戦勝利を飾った。自らの投球への自己採点は70点。「先発である自分がどれだけ長いインニングを投げられるかでリリーフの負担は変わる。ゲーム全体の流れを如何に良い方向へ持っていけるかを突き詰めた」とストイックに振り返った。実は入団前から本拠地・ちゅうるスタジアムには好感触を抱いていた佐藤。ソフトバンク時代の昨年5月に登板した際には3回と3分の1を無失点に抑えて勝利投手に。近年、硬いマウンドの球場が多い中で、ちゅうるは比較的掘れることに投げづらさを口にする選手も少なくなかったというが、左腕にはフィットする感覚が確かにあった。当時を振り返り、「去年（ちゅうるで）好投したとき、まさか次の年からここが本拠地になるとは思っていなかった。縁というか不思議です」と相手を崩した。そんな佐藤に休日の過ごし方を尋ねると、「温泉やサウナが好きだけど、家で過ごすのが心地よいこともあってなかなか足が向かない」とのこと。日本でも屈指の温泉地であり、聖地と呼ばれるほどのサウナもそろそろ静岡。家の風呂を超えるスポットを見つけ出すことに意欲を示した。一度は野球をやめようとして考えた男が、相性の良い静岡の地で再起を誓う。

TOPIC

応援グッズに新商品が登場

今季も球場内のグッズ売り場にはホーム・ビジター問わず多くの観客が立ち寄り、応援グッズを手にとって。昨季から販売していたレブリカユニフォームは今季から受注生産となり、グッズ売り場には推しの選手のデザインを求めるファンの姿が見られた。加えて今季からの新グッズとしてメガホンとTシャツを販売中。特にTシャツは吸汗速乾に優れたドライメッシュ素材で胸元にはチームロゴがあらわされている。試合を観戦するファンの中にもオリジナルTシャツを着用して応援する姿が徐々に増えてきた印象だ。また今季も球場内ではキッチンカーが稼働日によって楽しめるグルメもさまざま。静岡のご当地グルメを楽しみながらの野球観戦を体験してみたいか。いかがだろうか。

写真=くふうハヤテ



文=松下晴輝[静岡放送(SBS)アナウンサー]

2023年入社。埼玉県川口市出身。担当番組は『PPO』『がんばれ!ベンチャーズ』(SBSラジオ)、『LIVE!ずおか』(SBSテレビ)。アットエス、TBS NEWS DIGでも記事・コラムを執筆中

松下アナの情報は
こちらから▶



週刊ハヤテ

78